



YANMAR

News Release

2020年6月2日
ヤンマーホールディングス株式会社

収穫量バラツキの見える化でスマート農業を支援

6/7条コンバイン 3機種を発売



< コンバイン「YH6115,IM」 >

ヤンマーのグループ会社であるヤンマーアグリ株式会社(本社:大阪市、社長:増田長盛)は、収穫量センサーとスマートアシストを活用しほ場内における収穫量のバラツキを見える化できる「収穫量マッピング仕様コンバイン」3機種を7月1日に発売します。

近年、農地の集約化により、担い手農家1戸当たりの作業面積が拡大する傾向にあります。また、水田の大規模化が進んでおり、全水田の約9%にあたる約23万haは1ha以上の区画に整備されています。こうした背景により、ほ場管理のためのスマート農業の必要性も年々高まりを続けております。

このたび新たに発売する収穫量マッピング仕様コンバインは、スマートアシストリモートとの併用により、これまで把握できていなかった、ほ場1枚をさらに細分化した収穫量のデータを自動的に収集します。そのデータを活用することで、より安定的・効率的な営農が可能となります。

今後もヤンマーはIoTやICTを活用し、安全性や生産性の向上、作業負担の軽減などを可能にした商品を

提供し豊かな社会の実現に貢献してまいります。

■商品概要

商品名:ヤンマーコンバイン「YH6101,YM/6115,IM/7115,IM」<収穫量マッピング仕様>

発売日:2020年7月1日

適応作物:稲・小麦・大麦

商品価格:14,900,000円~17,180,000円(税抜、メーカー希望小売価格)

販売目標:初年度70台

■主な特長

1. 収穫量マップの作成

収穫量センサーの情報とスマートアシストリモートの位置情報を基に、ほ場ごとに収穫量マップを作成します。

収穫量マップによってほ場内の収穫量のバラツキを把握することが可能になります。



<YH6115 稲刈り作業イメージ>

2. オンライン上で簡単に収穫量データを確認

作成された収穫量マップは、「収穫量マップサービスサイト」に集約されます。収穫量に合わせて色付け表示され、一目で状況が把握できます。表示されるメッシュサイズを、5m・10m・15m・20mで選択することができ、次年度以降のほ場整備や土づくり、施肥作業へ活用できます。



< 収穫量マッピング画面イメージ >

商品紹介ページ: https://www.yanmar.com/jp/agri/products/harvest/combine/yh6101_yh6115_yh7115/

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、産業用エンジンを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、お客様の課題を解決するソリューションを提供しています。ヤンマーは“A SUSTAINABLE FUTURE-テクノロジーで、新しい豊かさへ。”をブランドステートメントに掲げ、次の100年へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/> をご覧ください。

<注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【商品に関するお問い合わせ】

ヤンマーアグリ株式会社 お客様相談室

TEL: 06-7636-9298

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマー 広報担当

E-mail: koho@yanmar.com